

(3) 理工チャレンジ

内閣府

# 理工チャレンジ

～女子高校生・女子学生の理工系分野への選択～

女子学生・生徒の理工系分野への関心・理解を高めるため、  
本人及びその進路選択に影響力のある保護者・教師をも対象に  
した女性研究者等のロールモデル情報の提供

## リコチャレ応援団体

理工チャレンジの趣旨に賛同する大学・企業・団体等

応援団体に関する情報や女子高校生・女子学生へのメッセージを掲載。  
また、理工系分野で活躍する先輩から、これから理工系分野をめざして頑張る女子  
高校生や女子学生、彼女たちを応援する人たちにに向けたメッセージも発信している。  
※独自のイベント等を当HPで告知も可能。

女子高校生・女子学生が  
参加できる  
イベント情報を掲載！

### リコチャレ応援団体イベント



### リコチャレ応援団体メッセージ



シンポジウムや  
仕事体験なども実施

**リコチャレイベント**

大学・短期大学・高等専門学校・専門学校  
企業・学術・研究機関等・行政機関・その他の団体

リコチャレ応援団体によるイベントを開催します。  
興味のあるイベントに是非参加してください！

**What's new? : 新着情報**

2014年9月3日  
東京女子医科大学医学部 「女子医学生のための教育プログラム 2014」  
未来の医療を支えるのは「あなた」を要しました。

2014年8月27日  
千葉大学・千葉県立女子大学センター 「理系で学ぶ、理系を活かす」  
「理系女性の活躍促進のために」を要しました。

大学・短期大学

2014年10月29日  
千葉大学・千葉県立女子大学センター  
理系で学ぶ、理系を活かす「理系女性の活躍促進のために」を要しました。

**リコチャレ応援団体**

社団法人 日本機械学会  
Ladies' Association of JSME

東京駅前地区会議室 3F 豊後通商ビル内  
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

**組織概要**

日本機械学会は、日本最大の学会組織である。その中で、Ladies' Association of JSME は機械学会  
における女性研究者・技術者の活動支援を行うために2004年度より結成された。機械学会では、会員  
38,265名中、女性会員は6,000名である。(2010年7月現在) 現在、大学と企業関係者12名(男性2  
名)で構成されており、女性研究者・技術者の活動支援を目的として活動している。

**理工系分野・部門の紹介**

理工系分野に属する機械工学・材料は産業の基盤を担っており、日本の産業・技術の発展から欠か  
ない重要な分野である。そのため、工学の様々な領域・職種と関連があり、また人材は幅広い分野で  
活躍している。最近では、従来の工学をベースとした産業分野だけでなく、IT、バイオ、環境、健康、  
エネルギーなど新しい分野を開拓し、夢をかなへる分野が広がっている。

### 先輩からのメッセージ

**先輩からのメッセージ**

大学・短期大学・高等専門学校・専門学校  
企業・学術・研究機関等・行政機関・その他の団体

理系分野で活躍している先輩から、女子学生・女子高校生へのメッセージを掲載します。

**What's new? : 新着情報**

2014年10月10日  
東京女子医科大学医学部 「女子医学生のための教育プログラム 2014」  
未来の医療を支えるのは「あなた」を要しました。

2014年10月10日  
千葉大学・千葉県立女子大学センター 「理系で学ぶ、理系を活かす」  
「理系女性の活躍促進のために」を要しました。

2014年10月10日  
千葉大学・千葉県立女子大学センター 「理系で学ぶ、理系を活かす」  
「理系女性の活躍促進のために」を要しました。

団体別 分野別

「先輩に質問！」  
アイコンから、  
質問をすることが  
できます！

**先輩からのメッセージ**

大学・短期大学・高等専門学校・専門学校  
企業・学術・研究機関等・行政機関・その他の団体

理系分野で活躍している先輩から、女子学生・女子高校生へのメッセージを掲載します。

**What's new? : 新着情報**

2014年10月10日  
東京女子医科大学医学部 「女子医学生のための教育プログラム 2014」  
未来の医療を支えるのは「あなた」を要しました。

2014年10月10日  
千葉大学・千葉県立女子大学センター 「理系で学ぶ、理系を活かす」  
「理系女性の活躍促進のために」を要しました。

2014年10月10日  
千葉大学・千葉県立女子大学センター 「理系で学ぶ、理系を活かす」  
「理系女性の活躍促進のために」を要しました。

団体別 分野別

●工学系  
・機械工学関係  
・電気通信工学関係  
・土木建築工学関係 など

●理学系  
・数学関係  
・物理学関係  
・化学関係  
・生物学関係 など

●農学系 ●保健系 ●その他

理工チャレンジ

<http://www.gender.go.jp/c-challenge/>



#### （４）マサチューセッツ工科大学（MIT）における内部改革

- ・ MIT における女性教員の地位に関して、女性教授陣が中心となって自己報告書を作成（1999 年 School of Science[1]、2002 年 School of Engineering[2]）。
- ・ 女性教授に対する聞き取り調査結果に加え、表の項目について数値データを示し、意図的でなかったとしても存在した男女間の不平等を指摘。

| データ項目例        |
|---------------|
| 給与            |
| 研究室の広さ        |
| 研究用リソース       |
| 議長への任命        |
| 受賞            |
| 教育義務・割り当て     |
| 委員会割り当て       |
| キャリアアップ過程の男女数 |

- ・ 報告書が MIT、さらには全米に与えた影響は大きく、2011 年のフォローアップレポート[3]では、女性教授数は約 2 倍になるなど劇的な改善があった、と報告。

（参考）

[1]A study on the Status of Women Faculty in Science at MIT (1999)

[2]Report of the Committee on Women Faculty in the School of Engineering at MIT (2002)

[3]A Report on the Status of Women Faculty in the Schools of Science and Engineering at MIT, 2011（2011）

#### 4. 「科学技術イノベーションにおける女性の活躍の促進に向けた検討会」について

##### <構成員>

原山 優子 総合科学技術・イノベーション会議議員  
小谷 元子 総合科学技術・イノベーション会議議員

藤沢 久美 シンクタンク・ソフィアバンク代表  
山本 貴史 株式会社東京大学TLO代表取締役社長

児玉 直美 一橋大学経済研究所 准教授  
小林 傳司 大阪大学理事・副学長  
山村 康子 国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラムオフィサー

##### <オブザーバー>

内閣府男女共同参画局推進課  
文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課

##### <検討経過>

第1回 : 平成27年8月10日(月)

1. これまでの取組等について
2. 科学技術イノベーションにおける女性の活躍の促進に向けた自由討議

第2回 : 平成27年8月24日(月)

1. 科学技術イノベーションにおける女性の活躍の促進に向けて

第3回 : 平成27年9月7日(月)

1. 科学技術イノベーションにおける女性の活躍の促進に向けて